

青少年のインターネット・リテラシー指標(ILAS)等調査の概要(1/2)

[ILAS (アイラス) : Internet Literacy Assessment indicator for Students]

- 総務省では、インターネット上の危険・脅威に対応するための能力とその現状を可視化するため、これらの能力を数値化するためのテストを指標として開発。2012年度以降、毎年、全国の高校生（1年生相当）を対象に、インターネットの利用状況に関するアンケートと併せて実施し、結果を公表。
- ILASテストの復習を通じたリテラシー向上等にも効果的に活用いただけるよう、テスト問題送付（案内）時に、テスト問題の解説、昨年度の公表結果や昨年度の全国平均点データ等を併せてお送りするなど、昨年度と同様に実施。
- 調査実施後にテストの内容に関する参考用の補助教材を作成し、フィードバック時に送付予定。
- 近年の情報通信を取り巻く環境変化に対応し、2022年度の調査においてはテスト問題を従来から変更予定。

2022年度ILAS等調査の概要

1. 調査対象 高校1年生
2. テスト実施形式 CBT（Computer Based Testing）形式 … パソコンルーム等でwebブラウザを使用して実施。
*インターネット環境が無い等、CBTの実施が困難な場合、紙での実施も可能。
3. 所要時間 約40分（事前/事後アンケート 計約10分+テスト約30分）
4. スケジュール
 - ・10月 調査実施者より委託された事業者（株式会社日本リサーチセンター）から、テストの詳細について御案内
 - ・11月中頃～1月末（想定） テスト実施
→テスト実施後、株式会社日本リサーチセンターから年度内にテスト結果（学校別の速報版）・補助教材を送付するほか、全学校の集計が終了後、全国版の分析結果についても送付予定。
5. 注意事項

次のページをご確認ください。

青少年のインターネット・リテラシー指標(ILAS)等調査の概要(2/2)

5. 注意事項

- テストの実施可能数には限りがありますので、希望が多数の場合には実施できない場合がございます（先着順）。
- 現在総務省においては、ILASテスト問題について設問の改修作業を実施しており、その問題の検証を行うため、「プレテスト」という名目で一部の学校に対して事前のテストを行っております。「プレテスト」を実施した生徒に対しましては、今回のILASテストを実施することができませんので、ご了承ください。
なお同じ学校内で、「プレテスト」を受けた生徒とは別の生徒がILASテストを受講することは妨げません。
- また上記の改修作業に伴い、新たな問題の継続性・効果検証等を確認するため、本年度のILASテストにつきましては改修作業を終えた新問題と改修作業前の旧問題の2種類のテスト問題を用いて調査を行うことを予定しています。
- 詳細につきましては、実施内容の確定次第、お知らせさせていただきます。

(参考：想定スケジュール)

～9/21（水）：実施希望校様から、管内の総通局等宛ヘリスト（様式）を提出

10月中：委託された事業者（株式会社日本リサーチセンター）から、テストの詳細について参加校へ案内、環境確認

11月中頃～1月（想定）：テスト実施